



# 私の留学体験

サメの保護活動in FIJI

浦邊凜 | 2年 | 準特

## フィジーに留学をしようと思った理由

私が留学に興味を持った理由は、幼馴染の影響にありました。私の幼馴染は一昨年留学に行っていました。留学から帰ってきた彼女はとても生き生きとしており、海外はすごく楽しかったと留学で経験したことを話してくれました。元々海外に憧れを持っていた私は、その彼女の留学がとてもうらやましくて、私も行きたい！と強く思うようになりました。また、私は将来、海の生き物が好きなため、海洋保護に関わる職業に就きたいと考えていました。そんな中、海の生き物の中でも、サメが好きで、イルカとは一緒に泳いだことがあったのでサメと泳げるプログラムとかなのかなあと思って調べていくとフィジーにありました。そのプログラムは、サメの生態保護を学ぶことが出来るというものでした。留学も、将来してみたい職業体験も、一度にできるなんてやるしかないと思いました。そのため、私はトビタテ留学 Japan に申し込みフィジーに留学にすることを決意しました。

## 留学で体験したこと

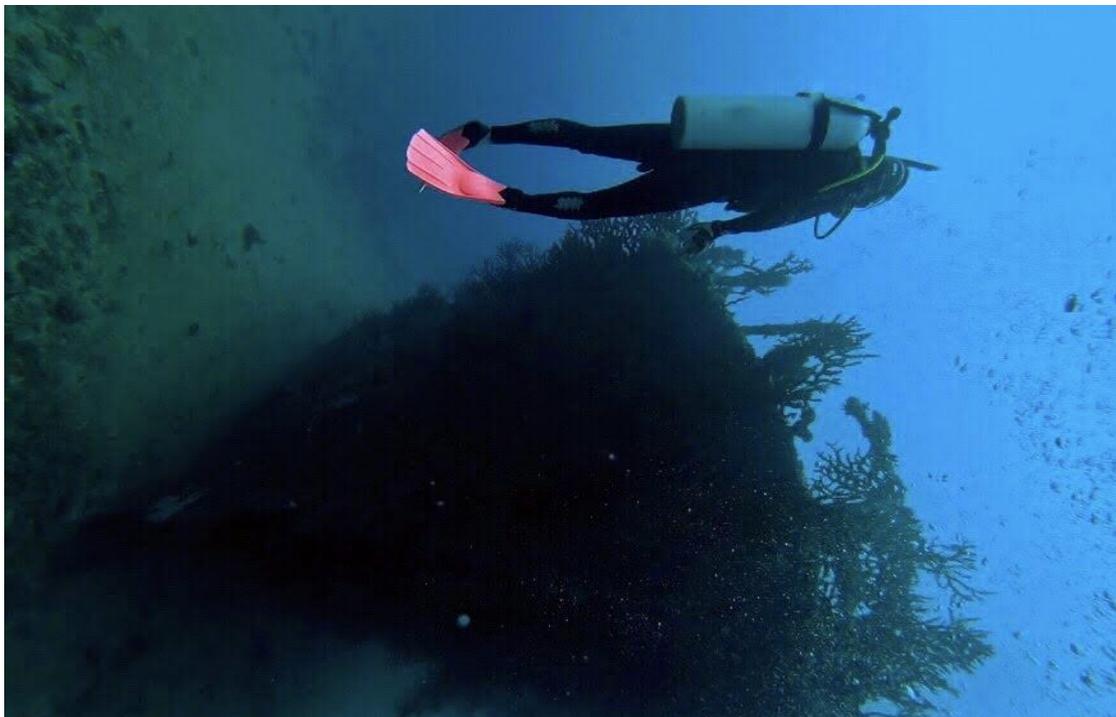
私は今回二週間フィジーに留学しました。私が行ったフィジーは、日本と時差3時間の島国です。自然がとても豊かで鶏や牛、羊が普通に道路を歩いていました。



フィジーの人はとてもフレンドリーで、のびのびと生活を送ることができました。

まずは初日、フィジーの空港に着いて、早速歌声が迎えてくれました。観光客のために現地の人々が歌を歌っていました。でも、現地でSIMカードを買おう！と思っていたけれどIDがわからないという不覚、そこから二週間Wi-Fiを探し求めて携帯を使う羽目になりました。そのあと滞在先に着いてルームメイトと会いました。タイから来た子、メキシコから来た子、中国から来た子など、たくさんの人種に囲まれて、もうここは日本じゃないんだなと思うと少し不安になりました。

二日目からはさっそく活動が始まりました。私が参加した活動は、shark dive がメインだったため、ダイビング資格を取ることから始まりました。英語の授業で英語のテストだったのでわけわからんし、眠たくなるし、このときはじめて言語が通じないことのつらさを感じました。海での講習は自分でコンパスを使ってスタートした場所に帰るテストがありました。でも、私はそのテストの時に迷子になってしまいました。パニック状態になってしまったけど、インストラクターに助けてもらって優しく大丈夫だよ。と言ってもらって本当に現地の人のお優しいさに救われました。無事にテストに合格した後は、本格的にダイビングが始まりました。ここからは楽しいことだらけでした！最初の一週間ずっとダイビング！！沈没船を見たり、サンゴ礁を見たり、波に流されながらダイビングをしたり、33メートルまで潜ったり、非日常体験をすることが出来ました。見たことのない魚や植物がたくさんいてダイビングをするうちにどんどん海の魅力にのみこまれていきました🌟



休日は、首都のスーパーへ行き、ショッピングを楽しみました。ショッピングモールに入るといろいろな国の料理屋さんが並んでいて日本とは違うショッピングモールを満喫できました。しかし街中にはホームレスの方たちがたくさんいて、エスカレーターに乗ろうとしたとき待ち伏せしていたホームレスのおばあさんに、お金をください。と言われました。お金はさすがに渡さなかったけれど、日本では直接お金くれ！なんてことを言われないので、日本との違いを感じました。また、ショッピングモールだけでなく、フィジーミュージアムに行きました。昔の船や家、洋服などを見ることが出来ました。また、ハリセンボンでできた帽子や、骸骨など、正直よく分からないものも展示してあってとても面白かったです。

そのあとは滝にも行き、とびこみをしました。雨が降っていて、寒かったけど人生初のとびこみ楽しかったです。とても楽しく充実した休日になりました。



後半の週では、ジャングルのような場所に行きマングローブの赤ちゃんを探しに行きました。そこで 1000 本のマングローブを拾いちゃんとしたプランターの中に植えてあげました。自分たちがしていることは地球環境をよくすることにつながるのだらうと初めて環境のために何かをできたと実感できました。



その後、異文化交流を味わうことが出来ました。かばと呼ばれる伝統的な飲み物、これはすごかったです。飲み物じゃない。まずい、お酒みたいな味です。みんなの飲んでる時の顔が最高でした。また、キャッサバという、タピオカのもとになっている芋を食べました。まったく味がなくて、日本の食べ物は贅沢だなと感じました



## Shark dive

楽しみにしていた shark dive!!!!!!自分の身を守るためにサメの勉強をした後、ダイビングをしました。50匹以上の大きなサメの大群が目の前をゆっくりと通って行き、ガラスがない水族館みたいな光景で、ずっと興奮しっぱなしでした。



噛まれるかもしれない…という不安もなく、ただただ感動しました。ゆったりとのんびりと泳ぐ5メートル近くあるサメたちが現地のダイバーさんに餌を貰っている様子はとてもかわいく見えました。私は今回のダイビングで、6種類のサメを見ることが出来ました。よく危険だといわれるサメもいたけど、まったく襲ってもこな

いし、安心してダイビングできました。サメはどんどん数が減っているの、正しい理解をしていかなければならないなと思ったし、みんなに正しい理解をしてもらえるように自分自身でできることを探していきたいと思いました。

## 最後に

2週間という期間は初めのころの不安が嘘かのように短く、満たされていました。しかし、英語がまだまだ未熟な私は、仲間やインストラクターにちゃんとしたお礼をすることが出来ませんでした。もっと英語が話せたらと留学中何度も思いました。私は、この2週間で英語に対する考え方や、今回学んだサメ、サメを取り巻く環境について考え直すことが出来ました。これからもサメの保護の関わっていきたいし、今度仲間に会ったら、もっと英語で話したい！と新しく目標もできました。

たった2週間だったけど、一生忘れない経験になりました。

本当に留学してよかった！

## トビタテ留学 Japan

トビタテ留学 Japan を申し込むにあたって、たくさんつまづくことがありました。書類作成やプレゼン作りなど、はじめてだったしやり方も分からずとても苦労しました。でも、先生方が沢山のアドバイスをくれて、励ましてくれて応援してくれて合格することが出来ました。関わってくれたみんなに心から感謝しています。

今回の留学は、申し込むときから最後まで本当にたくさんの人に助けられて助けてくれる人がいることのありがたさ、背中を押してくれる人がいることのありがたさに気づくことができました。今度は自分が誰かを助けられるような人間になりたいと思います。